

『止まる』 作：ポチ子

『止まる』 作：ポチ子

夜中に、

自分の心臓が動いているか不安になった。

止まっていたら、

こんな風に考えることもできないんだろうけど。

手首に手を当てて、

動いている心臓に安心する。

でも、もし本当に止まっていたら。

そしたら、

私は死んでしまう。

『止まる』 作：ポチ子

それでも別にいいな。

仕事にも行かなくていいし、

誰かに気を使う必要もないし、

生活費の心配もしなくていい。

なんだ、

良いことばかりじゃないか。

それなら、

心臓が止まってもいいな。

そう思って、

また手首に手を当てた。